

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】南あわじ市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
20	2007.7.31			兵庫県	南あわじ市	52,283	229.18
構想の要約		全国ブランド「淡路玉葱」の収穫、出荷、加工時に発生する残渣を地域のバイオマス資源としてとらえ、炭化・肥料化して農地へ還元する。「ほんまもん玉葱」の産地として消費者に対するイメージアップを図り、環境と調和した農業を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		① 玉葱炭の野菜作への利用 ② 玉ねぎ残渣のバイオ菌処理による有機肥料利用 ③ バイオメタンガスコジェネシステム					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材		その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成19年度、全淡建設(株)、農作物残さ(廃玉ねぎ)堆肥化施設の整備
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成17-19年度、南あわじ市、廃玉ねぎ、廃食用油炭化施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	H22年度の 賦存量 (t)	現在の利活用状況	利用率	利活用目標	仕向量 (t)	目標値
(肥料系 バイオマス)						
家畜排せつ物	164,066	たい肥化 完熟良質	93%	耕種農家へ販売、自家処理 バイオガス	131,252 24,609	80% 15%
し尿・浄化槽汚泥 (脱水汚泥)	438	脱水後、家畜排せつ物と混 合、たい肥化	100%	脱水後、家畜排せつ物と混合 たい肥化	438	100%
玉葱残渣	9,121	炭化	7%	土壌改良資材として農地還 元、 バイオ菌によるたい肥化	2,200 6,000	24% 66%
生ごみ	3,808	たい肥化	4%	たい肥化	190	5%
剪定枝	586	—		たい肥化水分調整材	176	30%
廃食用油	79	燃料化	0.4%	玉葱炭化の補助熱源	33	42%
小計 ※1	10,574				9,774	92%
(未利用 バイオマス)						
籾殻	7,380	敷料・たい肥化水分調整材	100%	敷料・たい肥化水分調整材	7,380	100%
稲わら	27,675	敷料・飼料	50%	敷料・飼料	13,837	50%
間伐材・林残材	※2					
小計 ※1	10,036				6,075	61%
合計 ※1	20,610				15,849	77%

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

概要図なし

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)